

学年	教科等	単元等	活用アプリ
中2	国語	書く・作る「相手や通信手段に応じた表現」	オクリンクプラス キーワード集計

授業
内容

伝えたいことを、相手や通信手段を考慮して適切な方法で書く

準備：

- ・共有コードを使用してカード①～③を取得する。
- ・みんなのボードに「件名」、「手紙と電子メール」、「通信文」の3つのボードを用意する。
- ・準備したカードを子供たちのマイボードに送信する。

授業の流れ：

1. マイボードに送られたカード①を開き、メールの見本を読む。班で話し合い、内容から件名を考える。
2. 考えた件名を班の代表者がカード①に入力して、みんなのボード「件名」ボードに送り、クラス全体で共有。わかりやすい件名の付け方について考える。
3. マイボードに送られたカード②を各自開き、手紙と電子メール、それぞれの特徴をまとめる。みんなのボード「手紙と電子メール」ボードに送り、先生が、紹介したい例をいくつか取り上げて投影する。（※キーワード集計をすると頻出ワードを大きく表示するワードクラウド形式で見ることができます。）
4. マイボードに送られたカード③を各自開き、通信手段を手紙または電子メールのいずれかから選ぶ。各自伝えたい相手と内容を決め、カード②でまとめた通信手段の特徴も踏まえながら、通信文を考え、入力していく。電子メールの場合は、カード①の取り組みをふまえて適切な「件名」も考える。完成したら、みんなのボード「通信文」ボードにカードを送る。
5. 「通信文」ボードで他の人のカードを見て、カードに記載されている伝えたい相手に気持ちや用件が伝わったものになっているか伝えたい相手を想像して考えて、リアクションをつけたり、コメントを書いたりして、意見交流する。
6. カード②とカード③をつなげて、提出BOXに送信する。

サポータ
おすすめ
ポイント

- ・電子メールの件名を考える活動を通して、通信文の受け手の立場を意識します。
- ・手紙と電子メールを比較し、それぞれの特徴をつかみます。
- ・作成した通信文を読みあうことで、送り手と受け手の双方の観点で表現について考えます。

カード①

カード②

カード③

共有コード

共有コードを入力、または
カメラを起動して
二次元コードを読み込む



pb01KVYNBJBY31VCGXVR6DJPXQFF